

# こうみょう

第7号

この如来にょらいは光明こうみょうなり。光明こうみょうは智慧ちえなり。

智慧ちえはひかりのかたちなり。

親鸞聖人しんらんしょうにんちよさく著作『一念多念文意』  
『一念多念文意』

4月8日は、私たち仏教徒にとつては、とても大切な日、お釈迦さまが誕生された日と伝えられています。

では、私たちの宗祖・親鸞聖人の誕生日を知っていますか？  
親鸞聖人は4月1日にお生まれになったと伝えられています。

4月は、いろいろな「誕生」がありますね。

新学期がスタートしますので、幼稚園児が誕生し、小学生が誕生し、中学生や高校生、新たに学ぶ人たちが誕生します。また、社会で働く人も誕生し、新たな人生を歩み出す人が誕生することもあるでしょう。

光明寺では、4月8日の「花まつり法要」の午前中に、帰敬式を執り行い、法名をいただく新たな仏弟子が誕生いたします！  
仏の教えをよりどころにして、お一人お一人が自らの人生の歩みを選び取る、とても大切な日となることでしょう。

「花まつり」を「縁」として、お一人お一人の大切な「誕生」についての「ものがたり」を聞かせていただきたいと思います。



江東区、大横川からの桜、そしてスカイツリー

第7号

2018年4月1日発行

発行責任者

〒135-0013

東京都江東区千田9-7

真宗大谷派 光明寺

住職 小林尚樹

電話：03-3644-3043

メールアドレス：

koumyouji@sky.plala.or.jp

## お釈迦さまの誕生

本山発行リーフレット

「ほとけのこ」※花まつり※より引用

独尊

―かけがえのないこと―

いまから二五〇〇年ほど前に、インドの北の方でお釈迦さまはお生まれになりました。それは花の咲く四月八日の日でした。そのお釈迦さまのご誕生をお祝いするのが「花まつり」です。

お釈迦さまは、お生まれになるとすぐに、天と地を指さして、「天上天下唯我独尊」(天上天下に、ただ我ひとりにして尊し)と声をあげられました。これは、「世界中で一番偉いのは俺だ」といばっているではありません。他の人と決して代わるることのできない、かけがえのないのちが与えられているということに目覚めたことばなのです。

だれだって、自分自身を大切にしたいと思っています。自分の一生が後悔のないものであることを願っています。しかし、どのよう

にすればその願いが実現するかは、あまりはつきりしていません。

お金持ちになること。有名になって回りから注目されること。競争に勝って人の上に立つこと。人の役に立って感謝されること。そのようなことが後悔のない人生に結びつくと思われていることが多いのではないのでしょうか。ところが実際は、思いどおりにならないといって苦しんだり、他の人と比べて自分を情けなく思ったり、しまいにはもう生きていく望みがないといってやけを起こしたりしているのです。

そんな私たちにお釈迦さまは、「あなたは、だれとも比べることのできない尊い存在なのです」と呼びかけてくださっています。この呼びかけが聞こえないかぎり、勝ったか負けたか、得をしたか損をしたか、優れているか劣っているかというものさしだけで自分を計り、一生を過ごしてしまうことになりません。

お釈迦さまのご誕生によって、何が本当になりたいせつなことがあるかが、はじめて明らかになったのです。その釈迦さまの教えを聞くのが「花まつり」の日です。

(大谷大学 一楽真先生)

## 花まつり

今からおよそ二五〇〇年前、北インド・カピラ城のストーダナ王を父とし、マヤー夫人を母として、お釈迦さまはお生まれになりました。

ある夜、マヤー夫人は、右の脇から、体の中に白い像が入る夢を見て、懐妊された。出産のために実家のある隣国に帰る途中に立ち



寄られたルンビニー園という花園で休憩をされ、美しいアシヨールカの木の花を折られようとして右手を伸ばされたとき、右脇からお釈迦さまはお生まれになられた。この時、天人がおりてきて、太子の頭の上から、甘露の雨を降らせ、花びらをまき、あたりに香気が漂った。その中を太子は、七歩あゆまれ、右手は天を指し、左手は地を指して「天上天下唯我独尊」と言われた。

この日は、四月八日であったといわれる。

(同じく本山発行リーフレットより)

## 仏事について……ごことが知りたい!

### 法名軸ほうみやうじくと過去帖かこちようと位牌いはいについて

葬儀の後、49日の法要に合わせて、故人の法名を記すものとして、お位牌を「用意される方は多くいらっしやることと思います。」

まず大切なことは、真宗大谷派の門徒として、礼拝の対象はご本尊・阿弥陀如来です。つまり、「ご本尊に手を合わせることが大切なことなのです。その上で、亡き方をどのようにお祀りするのか、お考えいただきたいのです。」

◆真宗門徒の作法としては、まずは、「法名軸」をお勧めしています。



近くにお亡くなりになった方の法名を、向かって右側のように記し、お内仏の右側面にお掛けします(ご本尊の右ではなく、「側面」

です)。そして、向かって左のものは、ご先祖の法名を書き記して、お内仏の左側面にお掛けします。近くに亡くなった方、それからご先祖も、諸仏としてご本尊・阿弥陀如来を左右からお荘厳しているという形を表しています。

◆法名軸が掛けられない場合には「過去帖」をお勧めしています。法名軸と併用してもよいのですが、過去帖は、ご先祖の法名を記録しておくものです。



◆そして、申し上げにくいのですが、浄土真宗の作法としては、位牌は用いないのです。位牌は、そこに故人の魂が宿っているという気持ちが残ってしまったように思えます。浄土真宗では、いのちは浄土へ還ると教えられますので、位牌の中に遺るものはありません。

礼拝の対象はご本尊です。その意味を、ゆっくり確かめてまいりましょう。



玄関のツツジ

## 光明寺「花まつり」のご案内

このたび、光明寺でも「花まつり」を実施することといたしました。先代住職の時代、つまり、僕(現住職)が子どものころ、お寺の玄関前に花御堂はなみどうを設置していた記憶があります。およそ40年ぶりに「花まつり」を復活いたします。

具体的な「花まつり」としては、4月8日の午後に法要をお勤めいたしますが、法要までの1週間は、お寺の玄関前に花御堂を設置いたします。

ご自由に、釈迦さまに甘茶をかけていただき、お釈迦さまのご誕生をお祝いいたしますよう。

法要日時：4月8日午後1時～2時ころ

お勤めと、住職の法話

参加費……無料

※どなたでもご参加いただけます。

※法要に参加してくれたお子様には、腕輪念珠をプレゼント!

## 永代経法要のご案内

毎年5月の第2日曜日に、「永代経法要」を勤修しております。

亡くなっていかれた方々をご縁として、今を生きる私たちが教えに出会う法要です。

親から子、そして孫へと大切な事柄を引き継ぎ、相続していくことが願われています。

ぜひ一度、ご参詣ください。

(ご希望の方は、お寺へご連絡ください)  
日時：2018年5月13日(日曜日)

午後1時より法要・法要後法話

法話：当寺住職

お斎：2時半ころ～3時半ころまで

会費：お志

## 写教の会

教えの言葉と、静かに向き合う時間です。

「正信偈」を書写しましょう！

日時：4月18日(水) 14時～17時の間

5月16日(水) 14時～17時の間

6月13日(水) 14時～17時の間

※お好きな時間にお好きなだけ・・・。

※筆ペン・鉛筆でも結構です！

## 「真宗会館」言の葉カード

私(住職)が勤めている「東本願寺真宗会館」より、「言の葉カード」を作成いたしました。様々な言葉に出会い、こころが揺り動かされるような体験を通して、自分を見つめなおすきっかけになることを願っています。

以下に、「真宗会館」からのメッセージを紹介いたします。

ネット社会という言葉に、葉に代表されるように、現代社会では携帯電話利用者の約8割の人がスマートフォンを利用し、様々な公共施設でのWi-Fi(無線でインターネット)に接続する技術)完備が進んでおります。

それにともない、私たちが何かの情報を取得するための手段は、テレビや新聞、雑誌や広告チラシからインターネットへと変化し、ある調査によると、現在の20代の人たちはテレビ視聴よりもインターネット利用時間のほうが長いというデータさえあります。



インターネットはそれぐらい私たちの生活に欠かせないものとなりました。

先日ある方と話していた時のことです。「先日、連れ合いを看取らせていただきました。実家の手次寺は兄がお付き合いですせていただいているので、こちら(東京)に住んでいる私は主だってお付き合いですしているお寺はありません。息子がインターネットでいろいろ調べてくれ、葬儀社さんとお寺さんを見つけたことができました。」

このような時代状況において、真宗会館では、これまでもたくさんの情報を発信してきましたが、情報の多さから大切な言葉が見落とされ、閲覧者の目にとまらず埋没してしまっているのではないかと。そのような思いから、それらを今一度掘り起こして多くの方へ届け、日常的にサイトに訪問するきっかけになるよう、「言の葉webサイト」「言の葉カード」を制作しました。「真宗会館」のホームページへのアクセスにもつながるよう、運営していきます。

言葉に出あった感動の歴史が一人でも多くの方に届きますように。

カードは、お寺に置いてありますので、ご自由にお持ち帰りいただけます。